

移動ロボットの“眼”となるカメラの実証実験を実施します

横浜市は「IoT横浜」を通じた実証実験支援を行うことで、IoTやAIなどの先端技術を活用した生産性向上や社会課題の解決への貢献、新たなビジネスモデルの創出に取り組んでいます。

その一環として、東京工業大学発ベンチャーのITD Lab 株式会社（横浜市緑区）が、360度全方位を監視できるステレオカメラを搭載した電動車いすを使用し、自立走行の実証実験を玄海田公園（横浜市緑区）で行います。

将来的には、開発中のステレオカメラが、歩く速度の車いすや配膳ロボ、自転車程度の速度で街中を走る配送ロボ、高速道路を走る自動運転車など、あらゆる移動ロボットの衝突防止に活躍する、“ロボットの眼”となることを目指します。

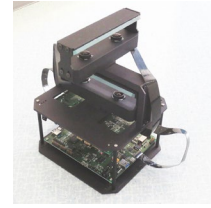
なお、本実証実験は玄海田公園の指定管理者である緑とコミュニティグループによる自主事業のマナーアップキャンペーンと連携して取り組みます。

1. 実証実験の概要

<p>内容</p>	<p>電動車いすには、センサー機能としてステレオカメラを搭載し、園内に設定した幅1m以上、長さ50m程度のコースを時速6km/hで走行し、一般の通行人や障害物に対して衝突を回避した安全行動の可否を検証します。</p> <p>なお、本実証実験は、マナー告知ポップを取り付けた電動車いす「WHILL」を使用し、公園利用者に向けたマナーアップキャンペーンと連携して行います。</p> <p>※検証中は、常にオペレーターがロボットに随行し、通行人や障害物との接触やコースアウトの可能性がある場合は、非常停止スイッチで強制停止させます。</p>	 <p>非常停止スイッチ1 全方位ステレオカメラ 非常停止スイッチ2</p> <p>実証実験車</p>
<p>実施場所</p>	<p>玄海田公園（横浜市緑区長津田みなみ台3丁目1）</p>  <p>実施エリア（赤線）</p>  <p>実施エリアコース</p>	
<p>実施期間</p>	<p>令和5年6月29日（木）14:00~16:30 以降、令和6年3月31日（日）までの間、不定期開催 ※取材いただける場合、当日に玄海田公園まで直接お越しください。</p>	

2. ステレオカメラについて

ステレオカメラは、人間と同じように2つの眼（カメラ）を用いて様々な物体を、立体的に撮影する後付け可能なカメラです。鏡を利用して全方位360度を監視します。1秒間に10回の速さで物体の位置がわかるので、その動きも検出でき、衝突の危険性を即座に判断することができます。

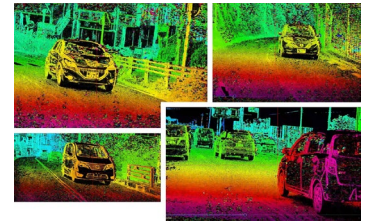


全方位ステレオカメラ

■ ITD Lab 株式会社について (ITD Lab | SRIM Technology)

ITD Lab 株式会社は、30年以上研究を続けてきたステレオカメラの技術を用いて“事故のない安全な世界”の実現に向けて社会に貢献することを目指して設立された、東京工業大学発ベンチャーです。

会社名：ITD Lab 株式会社 (アイティーディー・ラボ)
横浜本社：横浜市緑区長津田町 4259-3
東工大横浜ベンチャープラザ W401
代表者：代表取締役会長 実吉 敬二
設立：2016年5月



立体画像

【参考】

玄海田公園について

横浜市緑区に位置する、雑木林に囲まれた公園です。人工芝のサッカーコートのほか、3on3 バスケットや壁打ちテニスなどのニュースポーツ広場、BBQ 広場や遊具広場、広大な草地広場などの設備が整っています。

正式名称：玄海田公園

開園日：平成19年4月2日

所在地：横浜市緑区長津田みなみ台3丁目1

規模・設備：運動広場、遊具広場、バーベキュー広場

指定管理者：緑とコミュニティグループ



玄海田公園

I・TOP横浜 (IoT オープンイノベーション・パートナーズ) について

横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等 (IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等) を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。

これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。

お問合せ先

【I・TOP横浜に関すること】	経済局産業連携推進課長	岩船 広	Tel : 045-671-2574
【実証実験に関すること】	ITD Lab 株式会社	実吉 敬二	Tel : 045-532-5281
【玄海田公園に関すること】	緑とコミュニティグループ	浦部 裕光	Tel : 045-986-0986

※ 本件は、横浜経済記者クラブにも同時発表しています。